

地域を支えるOB・OG

地域活性化の応援団として

一の川や野川

門を入りました。

バイク事故で入院。警察と親密になり、県警を進められ、その後、見事に白バイ隊になられた先輩もありました。

私が三年間、家業の豆腐屋の行商で家族の生活を支えられたのも、スーパークラブ（バイク）での登校が認められたからです。

そして、学生時代の文化祭で、全校生徒による仮装パレードが宮

県立の高

等学校とし

ては珍しい、

バイク登校

が許可され

ていた宮内

高等学校。

自動二輪で

風を切って

登校、駐車

場へ。そんな

朝の風景

の毎日。私も

三年間、スー

内新町まで行われたのが思い出にあります。それが後に南陽市の「菊と市民のカーニバル」となり、現在に至っています。

を務めさせていただき、応援団女子部、バトン部を設立し、活動を広げることが出来ました。



卒業で応援団長、妻の野川八枝子も宮内高校普通科の卒業で卓球部長、生徒会役員を務め、地域ではりんごう婦人会設立に関わっています。また息子の野川寿広は南陽高校情報経済科の卒業で、エアライフル部で活動しました。現在は、南陽市商工会青年部の「菊と市民のカーニバル」実行委員として活躍中です。

南陽市唯一の造り酒屋

啓 高橋 啓
東の麓酒造(有)営業事務 (平成7年度卒業)

在学中は、情報処理やプログラミングを勉強し、部活と勉強を頑張ってきた。

あの当時、パソコンやIT機器を自分で操作できるスキルや能力が仕事で重要な役割を占



たので、コンピュータや機械が好きな私は、興味のあるこの分野ばかり勉強していた記憶しか今となってはありません。卒業後は県内の企業に就職し、学んだパソコンのスキルを生かした仕事をしました。

現在は、高校と同じ南陽市内にある日本酒製造蔵にて、日本酒の製造・営業・事務を担当しています。日本酒造りは奥が深く、経験や職人の勘で造られている品と想像しますが、毎年の蓄積していく仕込みのデータも重要です。データ管理は在学中に学んだ経験が大いに役立っております。

先人達が残してくれた素晴らしい古き伝統を守りつつも、新しい技術や管理方法など積極的に導入

し、地元で愛される日本酒造をする事が今の私の目標です。南陽高校同窓生であることに誇りを持ち、これからの人生も進んでいきたいと思っています。

